

商品市況展望

平成 25 年 8 月 25 日記

23 日（金）の昼便で、山形県・庄内空港に飛んだ。一泊して、昨日帰京した。外務員としての仕事ではなく別の案件であったのだが、銀行廻りをしてから昼の便で向かったため、今回のチャートは…中略…

さて昨日の午前中、帰りの飛行機までの時間が多少あったため、庄内市内をちょっと観光した。となれば当然、相場をやっているものなら誰もが知る「本間宗久」ゆかりの「本間家旧本邸」を見ずに、帰られようかという話。

『酒田照る照る、堂島曇る、江戸の蔵米雨が降る。』『本間さまには及びもないが、せめてなりたや殿様に』といった唄が流行るほどであったという希大の大相場師・本間宗久であるが、驚くほど酒田の人は知らんようだ。もちろん酒田でも相場を張っている人なら知っているだろうが、本間家旧本邸にも宗久ゆかりのものは何もなかった。

邸のガイドも「大地主として庄内藩、米沢藩の財政を支えた」とか、本間光丘が「防風林や灌漑事業などのインフラ整備に寄与した」とか、「戦後の農地解放までは日本最大の地主」であったとかの話が中心であり、『本間さまには及びもないが、せめてなりたや殿様に』の唄は紹介していたが、『酒田照る照る、堂島曇る、江戸の蔵米雨が降る』の唄には触れずじまいであった。

あくまでも本間家は投機家ではない。地主であり、海運業や両替商なども営む今の総合商社であるとのスタンスで紹介しているのだろう。

そりゃそうかもしれん。有名な三代目当主・本間光丘らとは「投機は商いの正道ではない」と晩年まで対立していたわけで、田舎ってというのは大体がそんなものだろう。

もう一つ、全く触れなかったのは現在の本間家の事であり、実は本間家の中核企業である本間物産は、平成 2 年（1990 年）に倒産、その後カウボーイ傘下で再建された後、現在は秋田・伏見屋の子会社となっている事だ。

栄枯盛衰は世の常とはいえ、江戸時代は三井・住友に劣らぬ大商家であったわけだが、明治維新後はあまり起業・興業には熱心ではなかったためか、現在のようになっているのだろう。もっとも「本間美術館」もあることだし、今だって大金持ちには違いないだろうが。

〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

今週の金の値動き

	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
8月19日	¥4,331	51	¥4,322	40
8月20日	¥4,260	-71	¥4,249	-73
8月21日	¥4,295	35	¥4,290	41
8月22日	¥4,302	7	¥4,305	15
8月23日	¥4,373	71	¥4,381	76

金相場は、先週号においては『内外ともチャートは買い転換。ETF残高も20週ぶりの増加であり、とりあえず相場のサイクルは変わったのだろう。よって押し目買い方針に180度転換である』とコメントした。

今週の相場展開は、20日には一度大きな押しが入ったものの、週末に掛けては上昇。4,392円(8/23)とまた戻り高値の更新であり、その後の夜間取引では**4,442円まで上昇**して引けている。

7/25に記録した4,329円の戻り高値を突破し、…中略…

チャートでは内外とも一目均衡表の雲の上に抜けており、相対力指数はまだ60ポイント台とそれほど過熱感のある状況でもない。皆が強気になるか、安値の売り玉が整理されるまでは、一段高があると見る方が自然であろう。

先週号で「つまり**4,430円~4,683円が上値目標**」とコメントしたわけだが、夜間取引ではその最低価格の4,430円はクリア。さてこの予測値の範囲の、一体どこまで上がるか？

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥5,873	2月7日	¥3,765	6月28日	¥4,373
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥5,077	2月7日	¥3,761	6月28日	¥4,385
2013年12月	¥4,519	12月25日	¥5,081	2月7日	¥3,745	6月28日	¥4,380
2014年2月	¥4,759	2月26日	¥4,979	3月21日	¥3,751	6月28日	¥4,386
2014年4月	¥4,585	4月25日	¥4,760	5月10日	¥3,749	6月28日	¥4,382
2014年6月	¥4,031	6月26日	¥4,392	8月23日	¥3,750	6月28日	¥4,381

○NY金日足

…削除済み…

8/23のNY市場では、前日比25.0ドル高の1395.8ドルでの終了。高値は1399.9ドルまでであり、1400ドル目前まで記録である。為替は99円台もあったものの、98.68円と若干の円高であるため、国内換算では49円高である。夜間取引の61円高よりは、ちょっと安い。

先週号でもコメントしたが「**チャートでは、戻り天井を打った 1348.7 ドル (7/23) を 15 日に完全に上抜き、一目均衡表の雲の上にも出て**」いる状況である。**チャートでは 1300 ドルを割り込まないと売りにはならない。**

なお CFTC 発表の 8/20 現在のファンドのポジションは、…中略…

また 8/23 現在での ETF 残高は、…中略…

また史上最高値を目指してゆくほどの相場だろうとは思わないし、NY 金の 1800 ドルや国内価格 5,000 円台奪還など夢のような話ではあろう。当方としては、**所詮は逆張りの範疇での上昇を演じている場面だと思っているが、だが今はまだ売れない。**チャートも内部要因も、買いを示唆しているからだ。

順当なところでは、NY 金の 1450 ドル辺り、為替を 99 円として国内換算価格 4,615 円という辺りが、**目標値となるのではあるまいか？**

結論として当方の相場観は、押し目買い継続の相場であろう。目標値は 4,600 円台乗せと考えており、最大押して 4,250 円辺りであろうとの判断である。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの値動き

	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
8月19日	¥4,788	-21	¥4,792	-21
8月20日	¥4,722	-66	¥4,722	-70
8月21日	¥4,773	51	¥4,774	52
8月22日	¥4,800	27	¥4,804	30
8月23日	¥4,916	116	¥4,929	125

プラチナ相場は、先週号においては『戻り高値を突破したことで、トレンドは買いに180度転換。チャートに逆らうのは得策ではなく、5,000円手前辺りまでの上昇を目標値とし、押し目買いに転換である』とコメントした。

今週の相場展開は、20日までは調整安となったが、週末は大きく上昇。4,941円(8/23)までの上昇であり、5,000円が見えてきた展開。なおその後の夜間取引では、4,947円と更に高値を更新したが、金が上昇する中でプラチナは4,900円辺りまで下げての終了となった。5,000円を目前にして、利食い売りが入ったのであろう。

予想通りの上昇であるが、ここからは5,000円を抜けるか、抜けないかで、大きく展開が変わる可能性がある。

…中略…

プラチナ自体の材料としては、タイヤインドも自動車販売は低迷という需要面では悪いニュースがあるわけだが、供給面では南アでは生産低下している中で、また労使交渉の不調でスト突入の可能性も高まっているとのニュースもあり、それが価格を引き締めている。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥5,274	2月7日	¥3,807	8月31日	¥4,916
2013年10月	¥3,998	10月29日	¥5,288	2月8日	¥3,933	10月30日	¥4,913
2013年12月	¥4,249	12月25日	¥5,300	2月8日	¥4,122	6月27日	¥4,921
2014年2月	¥4,831	2月26日	¥5,052	3月12日	¥4,125	6月27日	¥4,921
2014年4月	¥4,622	4月25日	¥4,999	5月16日	¥4,109	6月27日	¥4,927
2014年6月	¥4,284	6月26日	¥4,941	8月23日	¥4,125	6月27日	¥4,929

週末現在のサヤは、4,929円(プラチナ) - 4,381円(金) = 548円。600円を手前にして、サヤの拡大はもたついて来ている。

…中略…

結論として当方の相場観は、5,000円~4,700円(最低で4,450円)の間での保合い、逆張りの可能性が高いとみるが、上に抜ける可能性も低くはない。押し目買い方針を主流とし、安易な売りは避けるのがベターであろう。

〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	11月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
8月19日	¥24,420	230	¥25,310	40
8月20日	¥25,330	910	¥25,380	70
8月21日	¥25,200	-130	¥25,340	-40
8月22日	¥25,120	-80	¥25,770	430
8月23日	¥25,020	-100	¥25,520	-250

まずはコーンから…

先週号においては『24,000円割れで目先は底入れであろう。しかし25,000円台半ばからは上値の抵抗も強くなると思われ、今度は下値もみ合いに入ったものと考えている。逆張りの対処が良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、25,000円台での推移。先物は**25,790円(8/22)**の高値まで記録である。

目先底を打った**23,990円(8/13)**→**25,790円**までの上昇幅は**1,800円**。6月の最高値**28,970円**から**5,000円**近く下がったのだから、**3分の1戻し**はある意味順当だ。

半値戻しであれば、ズバリ26,480円という事になるが、幾ら上がってもその辺りが限界であろうと見ている。目先底は打っていても、完全にトレンドが買いになったとまでは考えていない。

というのも、…中略…

なお一代の動きは以下のとおりである。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥28,910	5月30日	¥23,620	8月12日	¥25,120
2014年1月	¥25,700	12月17日	¥28,600	6月3日	¥23,830	8月12日	¥25,790
2014年3月	¥27,290	2月18日	¥28,750	6月3日	¥24,030	8月12日	¥25,880
2014年5月	¥26,550	4月17日	¥28,970	6月3日	¥24,030	8月12日	¥25,830
2014年7月	¥26,600	6月17日	¥28,410	6月21日	¥23,990	8月13日	¥25,880
2014年9月	¥25,190	8月16日	¥25,790	8月22日	¥24,990	8月19日	¥25,770

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末8/23のシカゴ市場は、9月限で前日比**8.00セント**高の**495.50セント**。12月限では**5.50セント**安の**470.00セント**。…中略…

またCFTC発表の8/20現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、なお戻したとしても、**26,000円台半ば**が限界だろう。目先底は打っているだろうが、ここからの高値は引きつけての売りが良いだろう。戻り売りである。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
8月19日	¥63,210	470	¥52,850	430
8月20日	¥62,800	-410	¥52,200	-650
8月21日	¥62,770	30	¥52,170	-30
8月22日	¥62,310	-460	¥52,310	140
8月23日	¥62,690	380	¥52,450	140

続いて一般大豆です…

先週号においては『49,000円で目先底は確認であろう。このまま急騰を続けるほどの相場ではあるまいが、54,000円辺りまでは戻しても不思議ではない。おそらく5万円~54,000円でのみ合いに入るものと想定され、次の9月発表までは逆張りの期間に入ったものと思われる』とコメントした。

今週の相場展開は、52,000円台でのみ合い。先物は**51,800円(8/21)**の安値を記録した。

56,340円(7/10)→49,130円(8/8)まで7,210円幅の下落をした相場は、52,750円(8/16)まで3,620円の戻りを入れた。下げ幅の半値戻しである。

コーンよりは在庫率が6.9%ときついため、その戻りも3分の1戻しに対し、半値戻しと大きいわけだ。だが昨年のような(旧穀のような)大相場になるとは思えず、まだ上昇したとしても**3分の2戻しの54,000円手前辺りがせいぜいではあるまいか?**

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥68,750	7月10日	¥46,920	10月16日	¥62,310
2013年12月	¥50,680	12月17日	¥58,000	7月12日	¥48,450	1月9日	¥54,100
2014年2月	¥53,000	2月18日	¥56,000	7月17日	¥48,960	8月8日	¥52,530
2014年4月	¥50,910	4月17日	¥56,800	7月10日	¥49,850	5月2日	¥53,650
2014年6月	¥51,760	6月17日	¥56,340	7月10日	¥49,130	8月8日	¥51,500
2014年8月	¥52,600	8月16日	¥52,750	8月16日	¥51,800	8月21日	¥52,310

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末8/23のシカゴ市場は、9月限で前日比43.25セント高の1365.25セント。11月限では41.25セント高の1328.00セント。

…中略…

なおCFTC発表の8/20現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、54,000円に接近した場面は一度売ってみたい。シカゴが14ドル台まで上がるようなら踏むが、大豆の不作は無いと思っているゆえに、そんなに大きな上昇は無いと思っているゆえに。

[ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

今週のゴムの値動き

	8月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
8月19日	260.5	2.0	266.5	-0.8
8月20日	251.5	-9.0	260.8	-5.7
8月21日	251.5	0.0	260.6	-0.2
8月22日	255.3	3.8	266.0	5.4
8月23日	258.5	3.2	269.4	3.4

先週号においては『270円台に乗せるようならあっさり280円は付くだろう。逆に上げもだえするなら一度急落だろうが、チャートが上昇トレンドを維持しているのであれば、そういう場面を買いたい』とコメントした。

今週の相場展開は、週前半は下落して**260円割れ**も出るものの、週末に掛けて反騰。**272.0円(8/23)**と戻り高値の更新となった。

10円下げて、10円戻す展開となったわけだが、…中略… 繰り返すと「上値目標は262.0円→238.7円までの23.3円幅の倍返しなら、ズバリ285.3円。280円台を目標とし、押し目買いへの転換である」という相場になるのだろうかというものだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	301.0	2月25日	302.1	2月25日	222.6	6月25日	258.5
2013年9月	279.5	3月26日	297.7	5月13日	221.9	6月25日	261.1
2013年10月	253.7	4月24日	299.0	5月13日	222.3	6月25日	263.1
2013年11月	267.7	5月28日	274.8	5月29日	223.9	6月25日	264.7
2013年12月	231.0	6月25日	269.2	8月23日	225.5	6月25日	266.4
2014年1月	257.0	7月26日	272.0	8月23日	238.7	7月31日	269.4

先物2本が今週も一代高値の更新中である。

当先のサヤは、…中略…

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、8/10現在で899トン減の7,571トン。10旬連続の減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、…中略…

中国の経済指標を単純に信用する日本人は皆無だろうが、…中略…

結論として当方の相場観は、チャートは上放れであり、普通に考えれば一段高は必至だろう。まずは280円奪還を目指し、次は5月高値の299.0円にチャレンジ出来るかどうかというところだろう。ただし中国情勢には、細心の注意を払っておきたい。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

まずは原油から…

先週号においては『週ごとに暴騰、暴落が続く展開となってきている相場であるが、エジプト情勢を見る限り売りから入るのは危険。押し目買いを主力に、青天井相場の出現を期待する方がマシであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、NY 原油は先週末の高値 108.17 ドルから大きく下落。104 ドル台まで下落し、週末は 106.42 ドルまで戻しての終了である。

週替りで上げたり、下げたりが繰り返されている展開であり、高値 109 ドル辺り、安値を 102 ドル台までで、往ったり来たりである。

…中略…

なお週末のロンドンブレントは…中略…

また 8/20 現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

今週の東京原油の動き

	8月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
8月19日	¥65,420	-120	¥63,570	-20
8月20日	¥65,200	-220	¥62,900	-670
8月21日	¥65,230	30	¥63,260	360
8月22日	¥65,400	170	¥63,700	440
8月23日	¥65,730	330	¥64,590	890

東京原油は、6日連続の陽線の後には押しが入ったが、週末に掛けては再び上昇。64,790円と戻り高値を更新している。また夜間取引では、64,870円と更に小幅高である。

上値抵抗線は 65,220円があり、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥60,560	3月1日	¥66,480	7月19日	¥57,360	4月16日	¥65,730
2013年9月	¥62,370	4月1日	¥66,180	7月19日	¥57,370	4月18日	¥66,380
2013年10月	¥59,500	5月1日	¥65,840	7月19日	¥57,510	5月2日	¥65,780
2013年11月	¥60,370	6月3日	¥65,530	7月19日	¥58,040	6月14日	¥65,340
2013年12月	¥60,580	7月1日	¥65,220	7月19日	¥60,000	8月9日	¥64,930
2014年1月	¥62,420	8月1日	¥64,790	8月23日	¥59,720	8月9日	¥64,590

結論として当方の相場観は、押し目買い継続の相場であろう。急落を危惧するよりは、万が一の青天井相場を懸念する事の方が現実味があるだろう。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	9月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
8月19日	¥78,280	-220	¥74,700	-230
8月20日	¥77,770	-510	¥73,870	-830
8月21日	¥78,150	380	¥74,100	230
8月22日	¥78,800	650	¥74,590	450
8月23日	¥79,480	680	¥75,680	1090

続いてガソリンです…

先週号においては『エジプト情勢の混乱が続く限り、売りからは入りづらい。押し目買い方針で、一段高を狙う方が良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、75,200円(8/19)→73,000円台まで一度調整安を入れるものの、その後はまた急騰。夜間取引では**75,930円の高値まで記録**しており、一代高値の更新である。

…中略…

結論から先に言えば、中東情勢を考えた場合、押し目買い継続しかあるまい。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年9月	¥78,930	2月26日	¥79,840	8月23日	¥69,050	4月18日	¥79,480
2013年10月	¥74,630	3月26日	¥78,090	7月19日	¥68,150	4月18日	¥77,570
2013年11月	¥72,990	4月26日	¥77,590	7月19日	¥68,030	5月2日	¥76,620
2013年12月	¥71,760	5月27日	¥77,190	7月19日	¥69,450	6月14日	¥76,030
2014年1月	¥70,660	6月26日	¥76,940	7月19日	¥69,520	6月27日	¥75,780
2014年2月	¥75,050	7月26日	¥75,800	8月2日	¥71,020	8月9日	¥75,680

8/23現在の業者間転売価格は、…中略… 先物市場は割安であると考ええる。

8/17現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買い一貫の相場であろう。77,000円に上値抵抗線はあるものの、抜ければ8万円台乗せの相場になっても驚かぬ。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	9月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
8月19日	¥77,090	130	¥78,340	-70
8月20日	¥76,440	-650	¥77,550	-790
8月21日	¥76,620	180	¥77,890	340
8月22日	¥76,620	0	¥78,350	460
8月23日	¥76,770	150	¥79,330	980

最後に灯油です…

先週号においては『エジプト情勢の混乱が続く限り、売りからは入りづらい。またスポット市場の価格から見ても、先物市場は割安と思える。押し目買い方針で、一段高を狙う方が良さだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、20日には押しが入ったものの、その後は順調に上昇して週末は**79,540円**と一代高値を更新。

週末は9月限が納会落ちしたわけで、週明けには3月限が発会する。これはおそらく、季節習性から逆ザヤとなるだろう。

…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年9月	¥76,550	2月26日	¥78,380	7月19日	¥68,340	4月18日	¥76,770
2013年10月	¥74,090	3月26日	¥78,510	7月19日	¥69,000	4月18日	¥78,390
2013年11月	¥75,350	4月26日	¥79,200	8月23日	¥69,850	5月2日	¥79,000
2013年12月	¥74,610	5月27日	¥79,830	8月23日	¥71,580	6月14日	¥79,550
2014年1月	¥73,900	6月26日	¥79,850	8月23日	¥72,650	6月27日	¥79,600
2014年2月	¥78,000	7月26日	¥79,540	8月23日	¥74,130	8月9日	¥79,330

先物4本が一代高値の更新である。

8/23 現在の業者間転売価格は、…中略…

8/17 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、逆ザヤで発会すると思われる3月限を敢えて買おうとは思わぬが(逆に売ろうともまだ思わぬ)、中物限月の押し目買い方針は継続であろう。需給はゆるいが、大元の原油価格の反転がない限りは、下がらないだろうと見ているゆえに。

[為替・株式]

○ドル/円相場日足

…削除済み…

今まで、「98 円辺りまで戻せば、その後はまた円高で、93 円を目指すような格好に見える」とコメントしてきたが、今週は 99 円台も示現。これで 95.92 円 (8/12) も底になったのかな？という情勢にもなって来た。

ただし経済的にも政治的にも、100 円を挟んだ今の為替水準というのは、ある意味妥当なところなのかもしれない。

なお来週の主な予定は、…中略… などである。

○日経 225 日足

…削除済み…

週末は大きく戻し、13,660 円での終了である。しかしこのところの相場は、上に抜けるかと思えば反落し、下に抜けたかと思えば反騰である。

なかなか儲けづらいところであり、春の相場が懐かしい気分だ。

○NY ダウ日足

…削除済み…

NY 金の上昇は、この NY ダウが下抜けし始めた事と大きく関係があるのかもしれない。ただし週末も 15,000 ドル台は回復して引けており、まだしびれるような崩れにはなっていない。週末は QE3 縮小期待が後退という、一見するとなんだそれ？という材料での反騰だった。金も同じ材料で買われた。

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com